

2017年5月16日

横浜ゴム、東日本大震災と熊本地震の被災者支援の一環として 日本カーシェアリング協会にタイヤを寄贈

横浜ゴム（株）は東日本大震災と熊本地震の被災者支援の一環として、石巻へ72本、熊本へ12本、計84本の乗用車タイヤを一般社団法人日本カーシェアリング協会に寄贈した。同協会は生活に不自由を強いられている被災者や支援団体に車を提供するカーシェアリングを行っており、横浜ゴムはこの活動に賛同し、2015年からタイヤを寄贈している。今回、石巻へ寄贈した72本は4月13日と14日の2日間、石巻専修大学で開催された「2017年春の学生整備プロジェクト」で車両へ装着された。

一般社団法人日本カーシェアリング協会は東日本大震災の復興支援活動の一環として、震災直後の2011年4月から車を集め、仮設住宅や在宅避難の方々を対象にカーシェアリングのサポートを開始した。2012年2月からは石巻市より委託を受け「カーシェアリング・コミュニティ・サポートセンター」を仮設集会所の一室に設立、地元利用者の有志と共に運営しており、2017年5月現在101台の車を提供している。また、昨年の熊本地震では、支援を行う団体のために熊本近県から車を集め支援活動を開始。被災者の生活の足として、ピーク時には41台の車を集めるなど、被災者の生活をサポートしている。

一方、車の維持費は利用する被災者の負担となっている。そこで石巻専修大学理工学部機械工学科自動車工学コースでは利用者の負担を抑えるため、校内の自動車工学センターで学生によるカーシェアリング車両の点検整備を行っている。同様に熊本でも福岡県自動車整備振興会・北九州戸畑支部などが「無料まごころ点検」を実施した。



寄贈したタイヤ



「春の学生整備プロジェクトでタイヤ交換を行う
石巻専修大学の学生」

このリリースに関するお問い合わせ先
横浜ゴム（株）広報部 担当：中沢
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570